



健全な水と環境を次世代に引き継ぐ



2023年12月期 第2四半期
決算説明会

2023年9月5日

目次



01 NJSとは Page.2

02 NJSの特長と強み Page.4

03 第2四半期決算概要 Page.8

04 成長戦略 Page.14

05 利益還元 Page.33



01

NJJSとは

設立	1951年9月3日（創業71年）
代表者	代表取締役社長 村上 雅亮
事業内容	上下水道等のインフラに関する コンサルティング等技術サービス
事業所	本社 東京都港区芝浦1-1-1 国内64ヶ所 海外10ヶ所 （プロジェクトオフィスを除く）
上場市場	東証プライム市場（証券コード2325）
業績	連結売上高 192.3億円 連結純利益 17.3億円
従業員数	連結1,137 単体580人

NJSのパーパス



02

NJSの特長と強み

健全な財務内容

新規事業への挑戦

強固な事業基盤

健全な財務内容

創業以来赤字無、有利子負債なしで安定して経営してまいりました。
また、経営効率の改善と利益還元に努め、高いパフォーマンスを維持しています。

自己資本比率

81.7%

ROE

7.8%

5年総合利回り

147%

比較指標

配当込TOPIX 117%

注) 数値は2022年12月期

新規事業への挑戦

強固な財務基盤を背景に、時代のニーズに対応した新しい技術とサービスの開拓に挑戦しています。

ソフトウェア

インフラ管理のDX推進



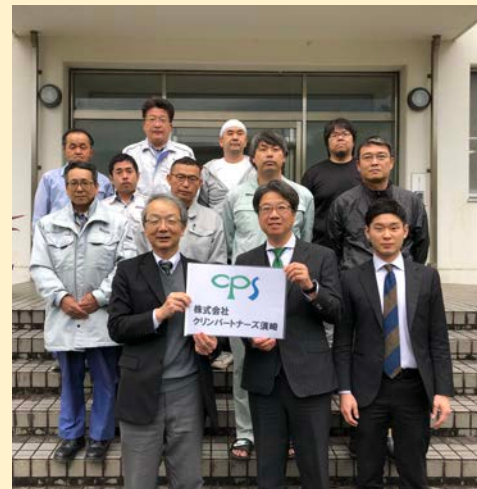
ドローン

老朽化施設の点検ソリューション



オペレーション

地域連携とサステナビリティ向上



グローバル

世界の水と環境の課題解決



強固な事業基盤

国内外の上下水道事業者から
継続的に業務を受託
地域の未来を創造

顧客



技術



長年培った上下水道に関する
技術と経験、
技術を活かしたシステム開発

人材



ソリューションの開発と
提案を続ける
プロアクティブな人材

03

2023年12月期第2四半期 決算概要

- ◆ 事業規模の拡大により総資産は13.3億円、純資産は7.3億円、前年同期と比較して増加
- ◆ 每期着実に企業価値が増大している

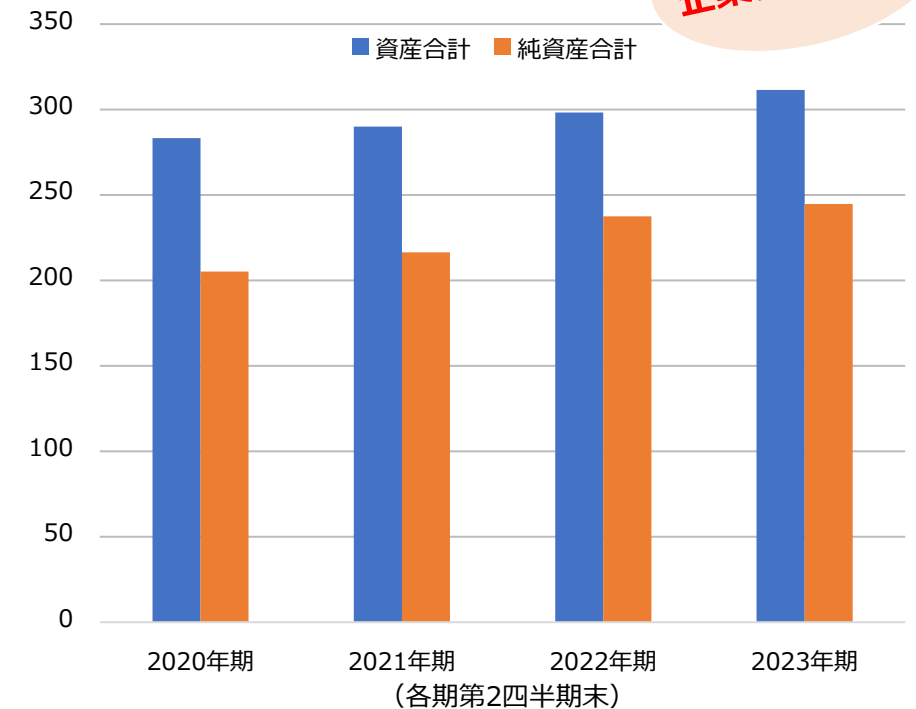
連結貸借対照表（前年同期比較）

（単位：億円）

		2022年12月期 第2四半期末	2023年12月期 第2四半期末	前年同期比 増減
資産	流動資産	238.6	243.7	+5.1
	固定資産	59.7	67.8	+8.2
	合計	298.2	311.5	+13.3
負債	流動負債	50.2	57.8	+7.6
	固定負債	10.5	9.0	▲1.6
	合計	60.7	66.8	+6.0
純資産	株主資本	232.5	237.4	+4.9
	包括利益累計額	4.4	6.8	+2.3
	少数株主持分	0.5	0.5	+0.0
	合計	237.5	244.7	+7.3
負債・純資産合計		298.2	311.5	+13.3

財務状況の推移

（単位：億円）



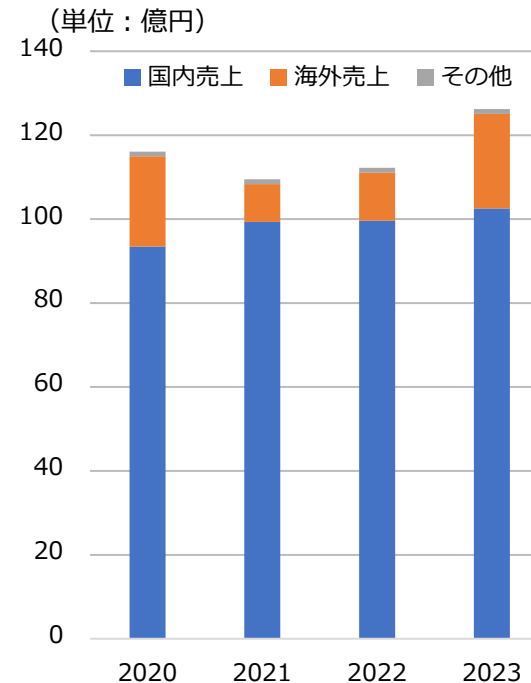
- ◆ 受注高、売上高は国内業務、海外業務ともに前期比増加
- ◆ 人材投資及び開発投資に伴い利益面では前期比減少

連結業績（サマリー）

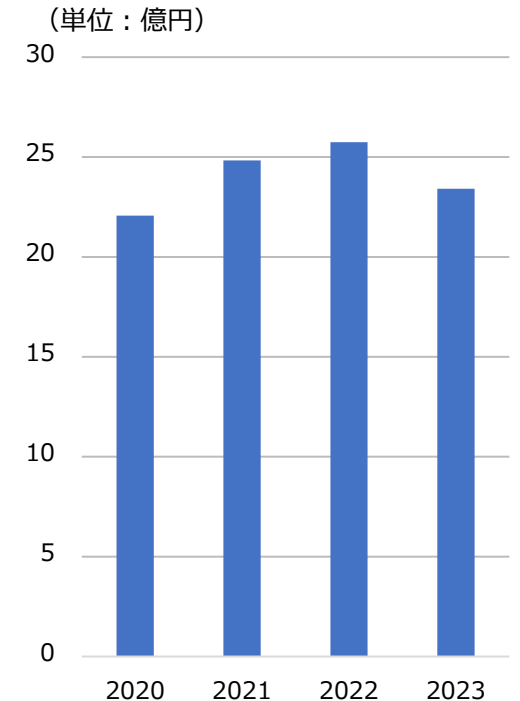
（単位：億円）

	2022年12月期 第2四半期 (前期)	2023年12月期 第2四半期		
		実績	前期比	
			増減額	増減率
受注高	83.3	97.8	+14.5	+17.4%
売上高	112.2	126.2	+14.0	+12.5%
営業利益	25.7	23.4	▲2.3	▲9.0%
経常利益	26.6	24.3	▲2.3	▲8.7%
純利益	21.4	16.5	▲5.0	▲23.1%

連結売上高



営業利益



国内業務

(単位：億円)

	2022年12月期 第2四半期 (前期)	2023年12月期 第2四半期		
		実績	前期比	
			増減額	増減率
受注高	77.6	77.0	▲0.6	▲0.7%
売上高	99.7	102.5	+2.9	+2.9%
利益	26.9	22.8	▲4.1	▲15.3%

- ◆ 受注高は堅調に推移するが第2四半期ベースでは減少
- ◆ 売上高は順調な業務消化により増加
- ◆ 利益は更なる人材投資及び開発投資により利益率減少

海外業務

(単位：億円)

	2022年12月期 第2四半期 (前期)	2023年12月期 第2四半期		
		実績	前期比	
			増減額	増減率
受注高	5.7	20.8	+15.1	+264.7%
売上高	11.4	22.5	+11.1	+97.5%
利益	▲1.7	0.0	+1.7	-

- ◆ 大型案件の契約変更（増額）等により受注・売上とも増加
- ◆ 同時に利益率も改善

- ◆ 雨水対策業務、老朽化対策等の増加により売上高は前期比+21.2億円（+11%）
- ◆ 海外の大型案件の追加契約及び新規連結子会社（富洋設計株）も業績増の要因

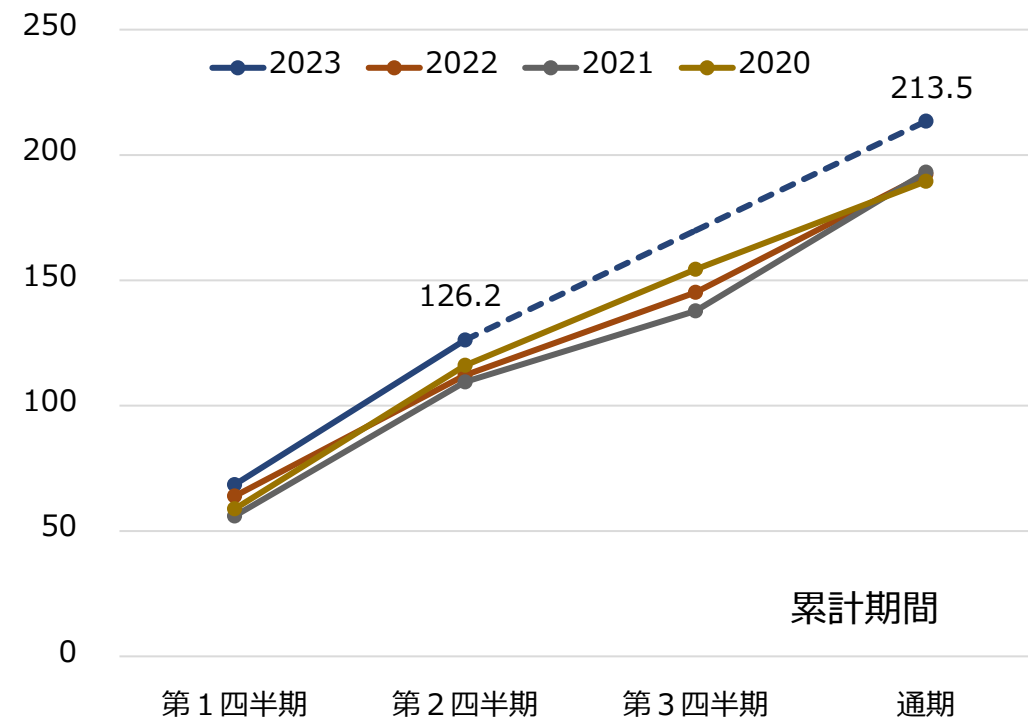
通期連結業績見通し

（単位：億円）

	2022年12月期 （前期）	2023年12月期通期		
		見通し	前期比	
			増減額	増減率
受注高	184.5	210.0	+25.5	+13.8%
売上高	192.3	213.5	+21.2	+11.0%
営業利益	19.3	26.5	+7.2	+37.0%
経常利益	20.1	27.3	+7.2	+35.7%
純利益	17.3	18.0	+0.7	+4.3%

四半期別売上高進捗

（単位：億円）

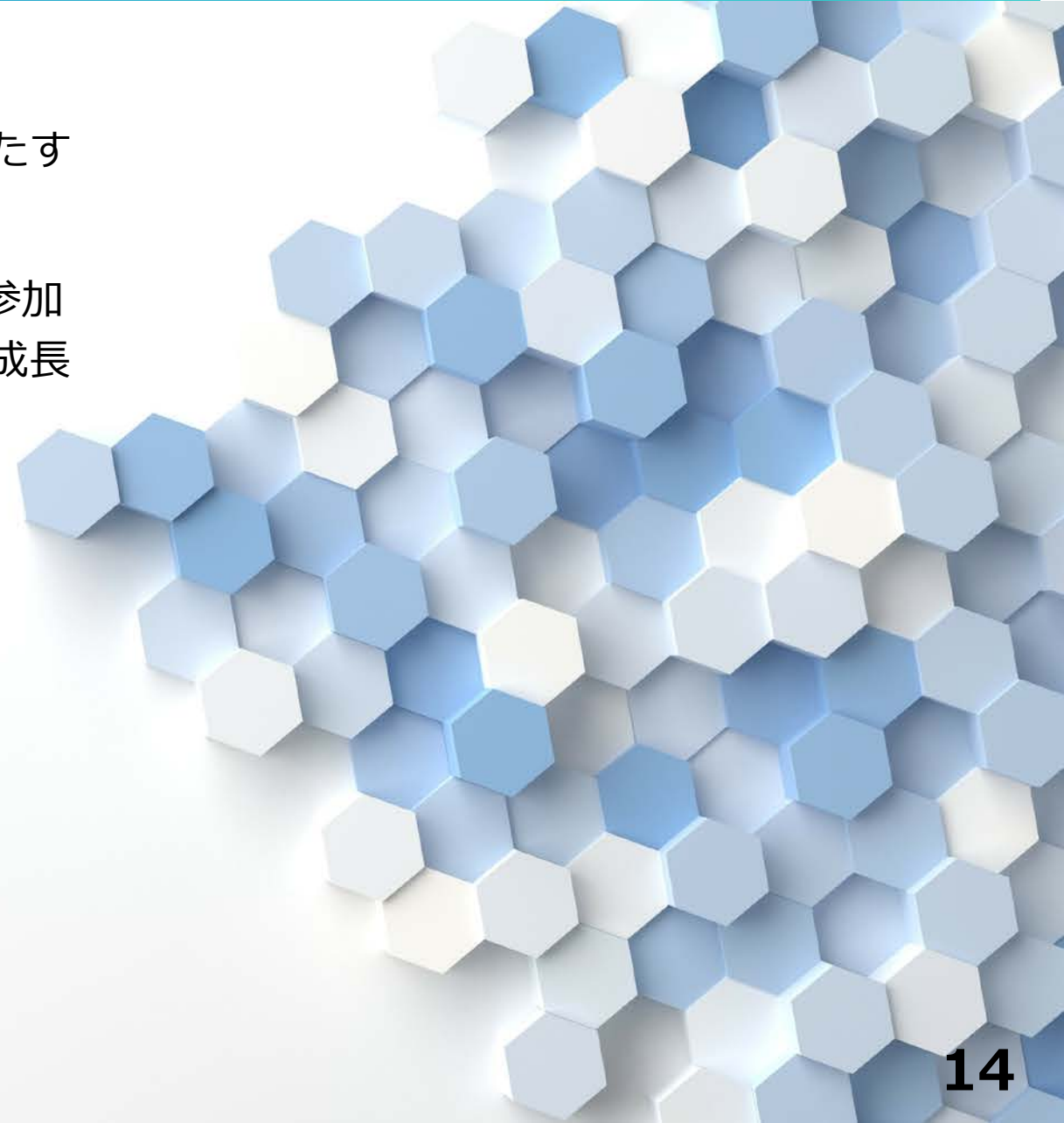


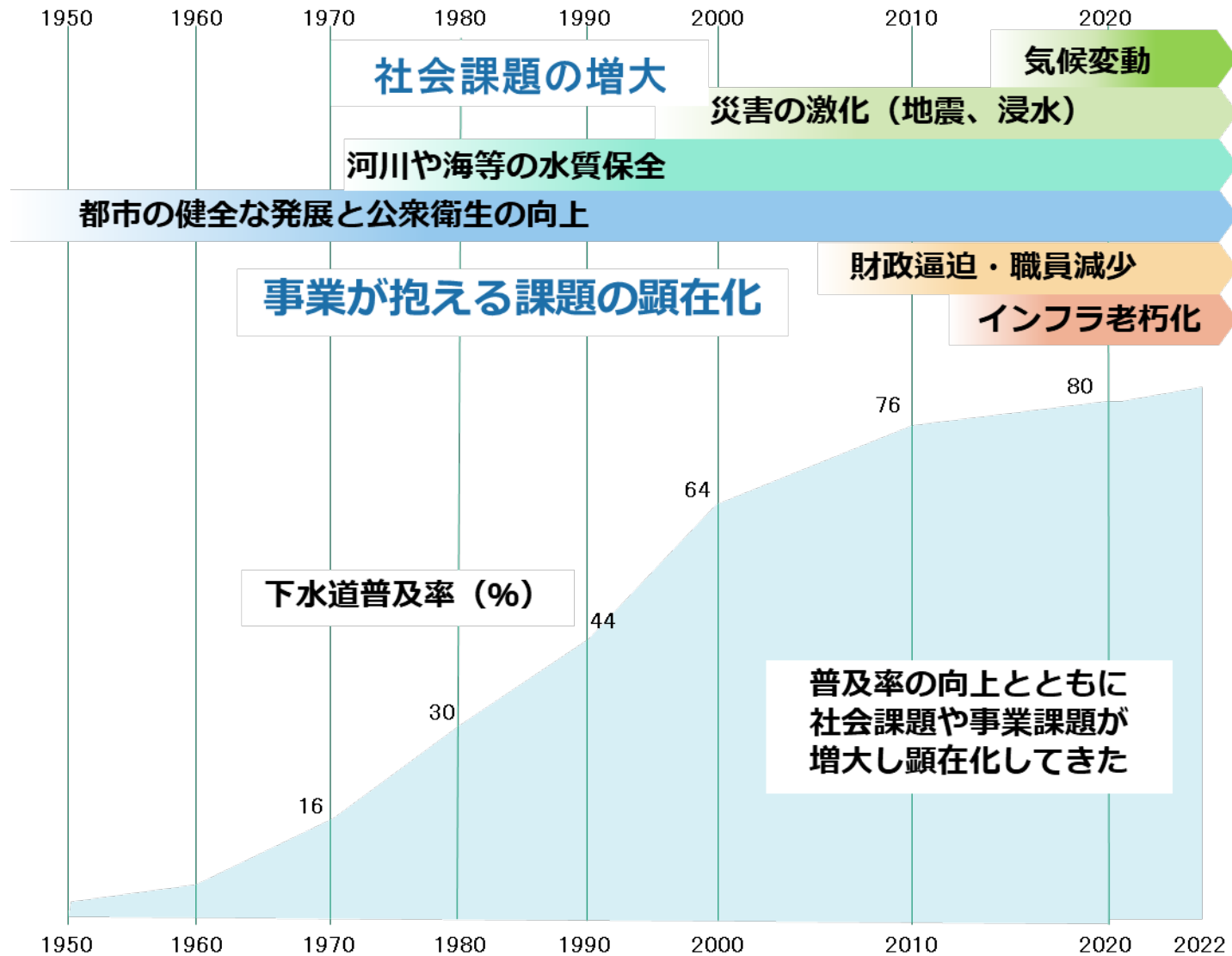
04

オペレーションカンパニーを目指す 成長戦略

インフラの老朽化が社会問題になる中で民間企業の果たす役割が期待されています

NJSはインフラ管理を中心とした事業運営に積極的に参加することによりビジネス領域全体の強化と拡大を図る成長戦略を策定いたしました。





水と環境の事業課題



新しいトレンド

- 運営** 機能・サービスを重視した事業運営
- 地域** 地域の実情に応じたソリューション
- 共助** 行政・市民・民間企業の一体的な取組

新しいスキーム

- ウォーターPPP**
- 民間のリソースを活用した管理・更新一体マネジメント

新しいビジネス環境（社会課題の増大、事業課題の顕在化、ウォーターPPP）に対してソリューションとオペレーションの機能強化によるオペレーションカンパニーを目指すビジョンを明確にして、ビジネスの拡大と人的資本の強化を実現します

新しいビジネス環境



ウォーターPPP

官民連携事業の拡大



オペレーションビジネスの開拓と拡大

ソリューションビジネス強化と拡大

エンゲージメントの向上
プロアクティブ集団の構築

ソリューション機能とオペレーション機能を強化したオペレーションカンパニーの実現により、健全な水と環境の創造を推進するとともに企業価値の向上を図ります

ビジネス環境

社会課題の増大

- ・気候変動
- ・災害激化
- ・人口減少
- ・資源枯渇

事業課題の顕在化

- ・施設老朽化
- ・職員減少
- ・財政制約
- ・地域連携

新しいトレンド
ウォーターPPP
による官民連携
ビジネス拡大

MATERIALITY

社会課題の解決

事業の持続性向上

官民連携事業の推進



OUTPUT

管理・更新一体マネジメント

雨水・災害対策マネジメント

劣化事故リスクマネジメント

資源エネルギーマネジメント

地域との協創マネジメント

企業価値の向上

- ・受注・売上・利益の増大
- ・領域・役割・責任の拡大
- ・人材・技術・顧客基盤の強化
- ・企業ブランド力の向上

健全な水と環境の創造

- ・健全な水と環境の保全と創造
- ・持続可能な事業の構築
- ・カーボンニュートラルの推進
- ・安全で活力ある地域づくり

NJSには、オペレーションカンパニーの構築に向けて
リソースとビジネス基盤が整っています

NJSのリソース

人的資本

連結従業員数 1200人
有資格者数 430人

知的資本

インフラの設計・管理技術
特許出願数 43件

社会関係資本

全国の自治体実績
多様なパートナー企業

NJSのビジネス

コンサルティング

浄水場 約300ヶ所
下水処理場 約600ヶ所

オペレーション

業務受託 約100都市
包括民間委託 6都市7事業
コンセッション 1都市

ソフトウェア

経営～施設管理 13システム
ユーザ都市 260都市

グローバル

海外業務実績 90ヶ国以上
アジア、中東、アフリカ
中南米など

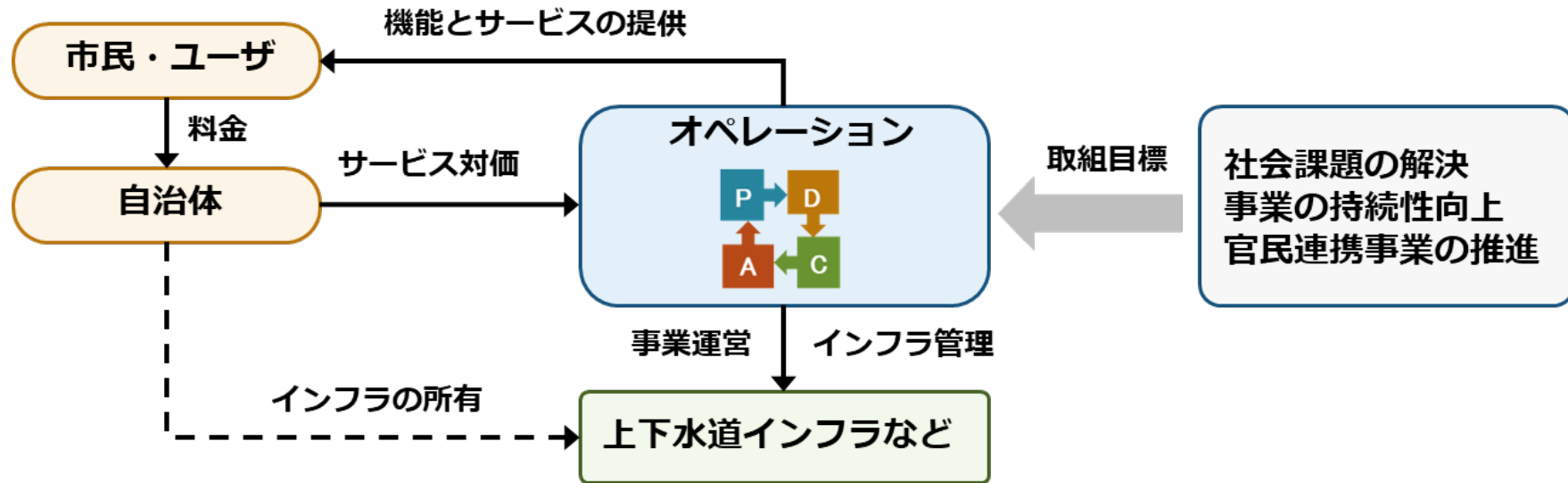
インスペクション

世界初の管路点検ドローン
世界初の水上走行ドローン
高性能水中ドローン

NJSのリソースとビジネスの活用により、オペレーションビジネスの開拓と拡大、
ビジネス領域全体の拡大、技術やシステムのインテグレーション、
多様な人材の確保・育成、プロアクティブ集団への転換、顧客開拓を推進します



ウォーターPPP レベル3.5の場合







内水浸水対策の重要性

- 内水浸水は、河川堤防の決壊や河川からの溢水による浸水に比較して
- ・ 浸水被害の発生頻度が高い、浸水被害の60%以上が内水浸水
 - ・ 浸水被害までのリードタイムが短い

内水浸水対策の課題

- 精度の高い現況調査と定期的な施設点検
- 高精度で高効率な解析システムの構築
- 被害軽減や避難に対する浸水予測情報の活用性
- 浸水対策施設の効果的活用による被害軽減

NJSのサービス

現況施設調査 被災状況調査	地域の雨水排水施設の状況を、ドローン、管口カメラなどで安全かつ効率的に調査、被災状況も同様に調査
内水浸水予測	NJSの施設データプラットフォームSkyScraperを活用することにより、効率的に内水浸水想定区域図などを作成
浸水予測情報提供	現在発生中の降雨に対して30分後の浸水予測を行い市民や自治体に情報提供する、対策施設の効果検証などに活用
リアルタイム施設運用	水路や管路の水位情報をリアルタイムで取得してポンプ場やゲートの運転を最適化することにより被害軽減を図る

施設調査システム

地域の雨水排水施設の状況を、ドローン、管口カメラなどで安全かつ効率的に調査し、浸水予測解析の精度を高める
また、施設の定期点検や被災状況調査にも活用する

管口カメラ



点検ドローン



水上走行ドローン



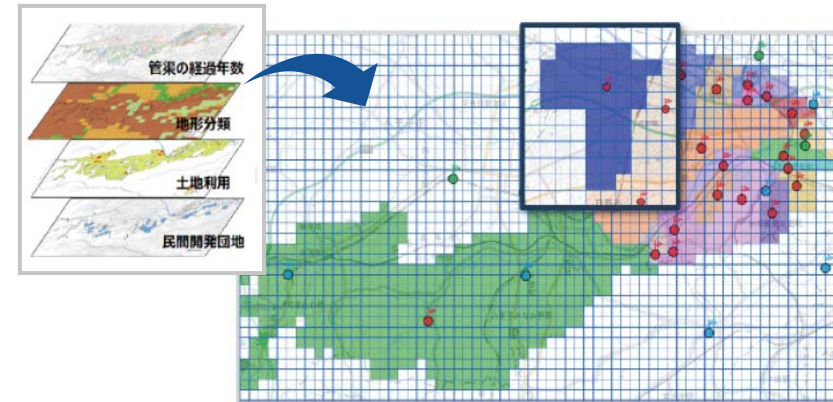
水中ドローン



内水浸水予測システム

NJSの施設データプラットフォームSkyScraperを活用することにより、効率的に流出解析を行い、内水浸水想定区域図などを作成する

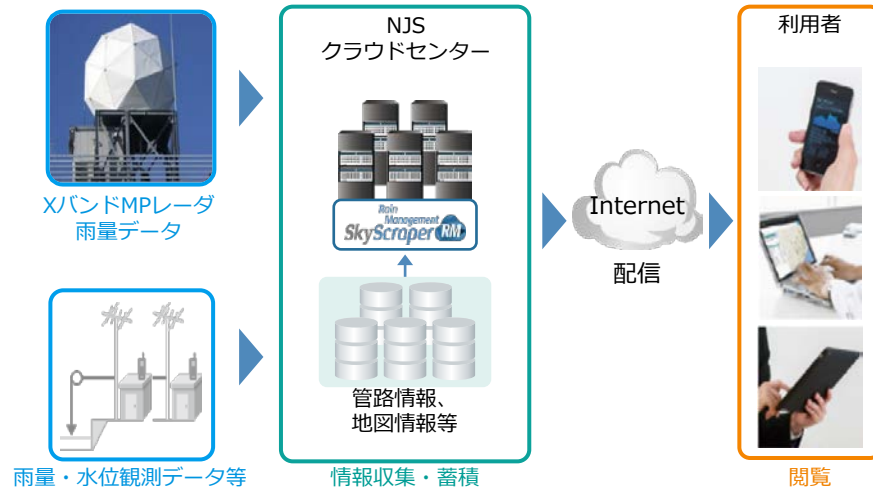
内水浸水予測解析



内水浸水想定区域図の作成

浸水予測情報提供システム

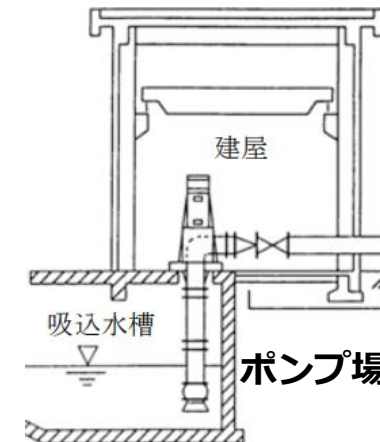
現在発生中の降雨に対して30分後の浸水予測を行い市民や自治体に情報提供することで被害軽減や早期避難を図る
また、対策施設の効果検証や予測精度向上に活用する



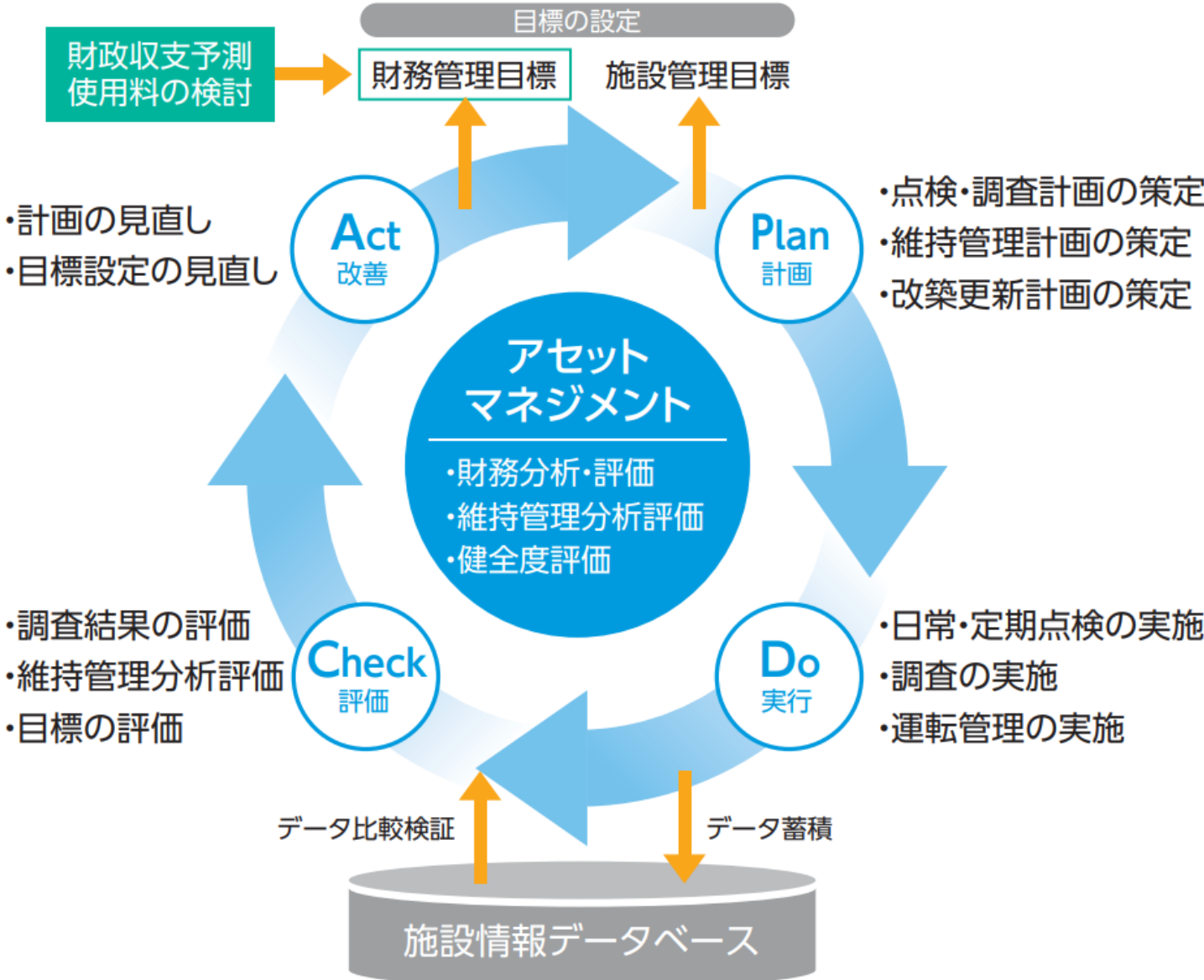
リアルタイム施設運用システム

水路や管路の水位情報をリアルタイムで取得してポンプ場やゲートの運転を最適化することにより被害軽減を図る

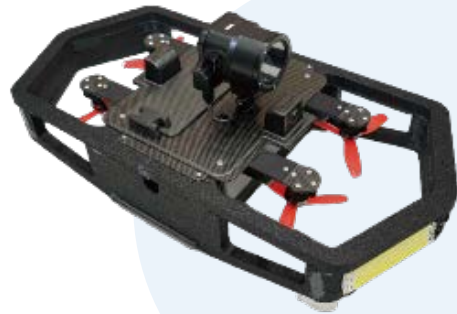
SkyManhole® 水位計測システム



ゲート



Air Slider®



管内飛行式ドローン

Water Slider®



水上走行式ドローン

WATERi



水中ドローン

管診鏡



管路点検用カメラ

SkyManhole



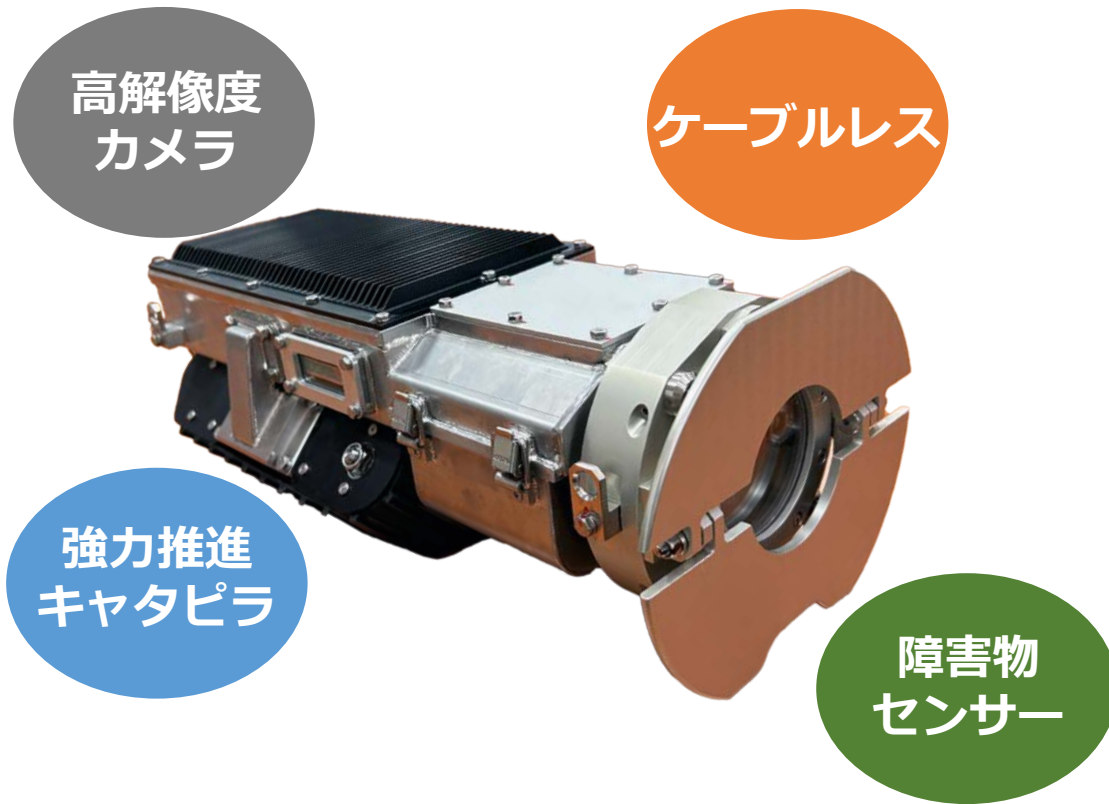
IoT水位観測システム

Connected Collector^{コネクテッドコレクター}



IoT機能診断システム

キャタピラ式カメラ車の開発

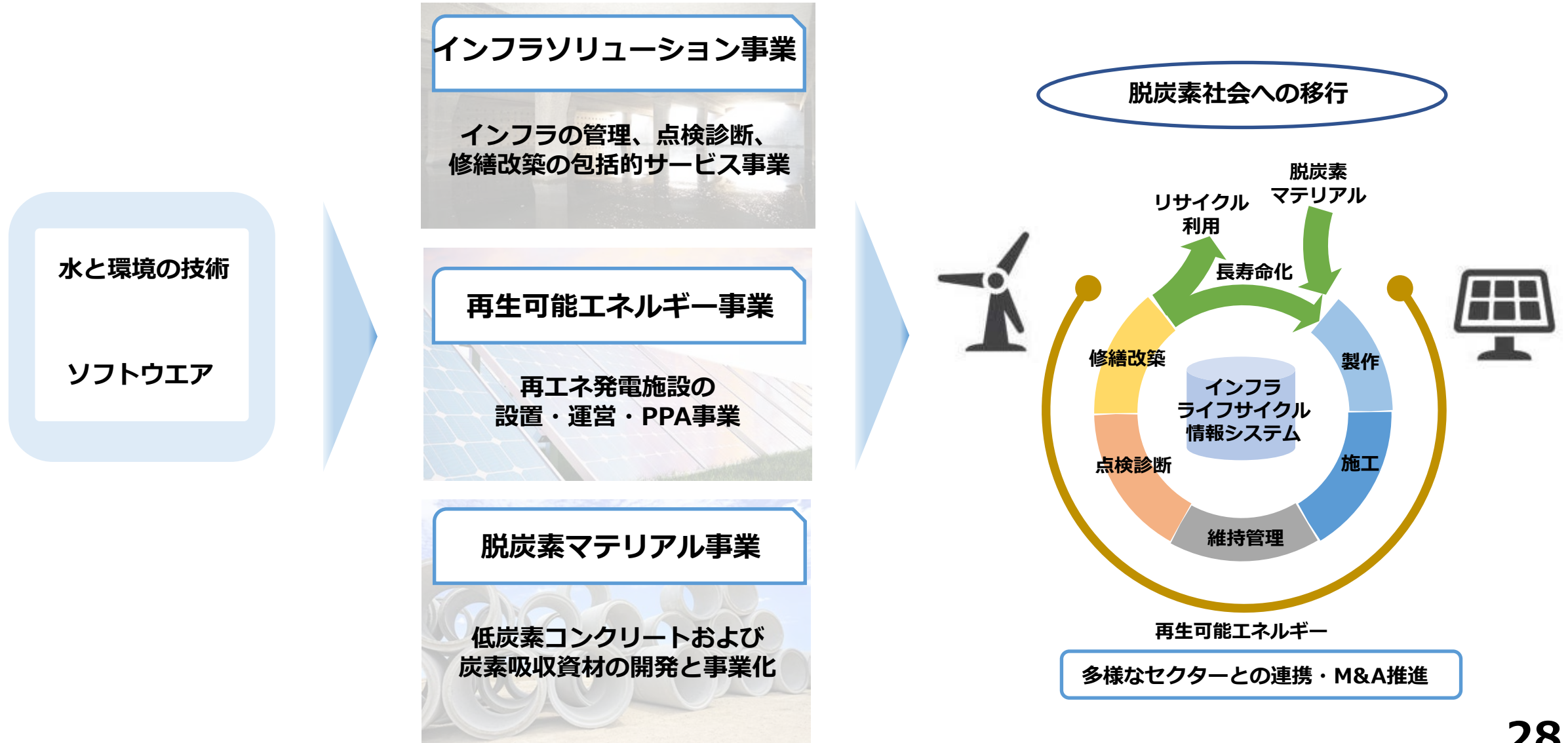


- 作業員が人孔に入らずに作業可能
- 作業中は人孔蓋を閉め別の作業ができる
- ケーブルレスで自動走行、障害物検知で自動停止
- 途中で機材が止まっても回収が容易
- ある程度の堆積物は乗り越えられる

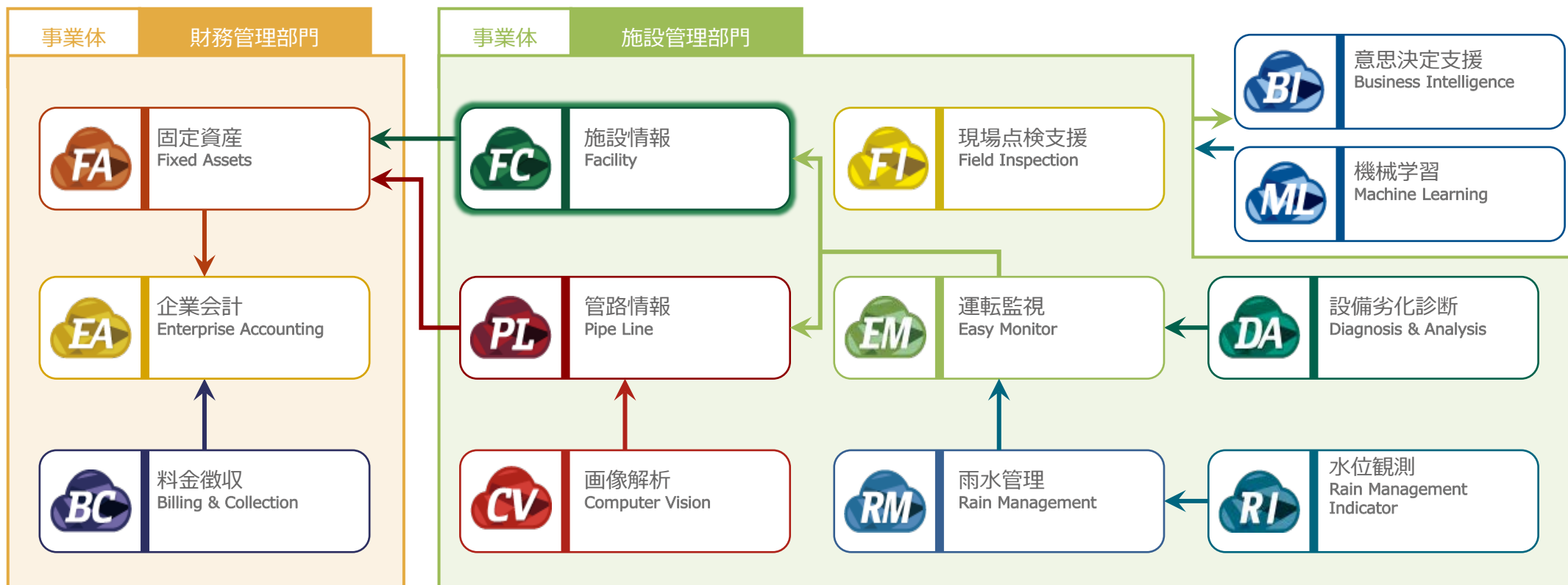
安全性

効率

品質



情報活用プラットフォームとしてスカイスクレーパーを展開し、
維持管理と改築更新の最適化に取り組んでいます。



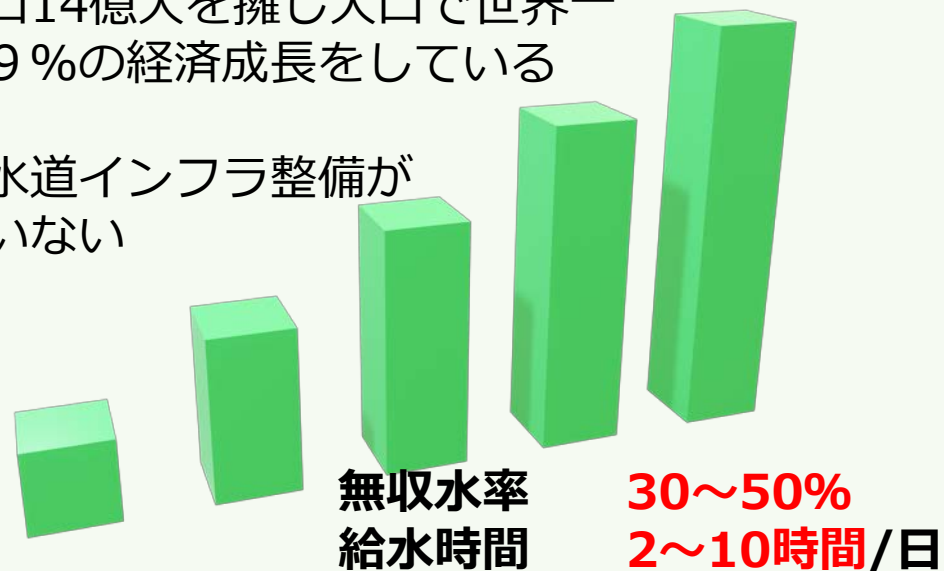
インド事業の展開

- 2007年インドに現地法人（NJS Engineers India）を設立
- 現在は社員数約**600名**、売上高約**9.5億円**
- 現地の上下水道整備プロジェクトを多数実施している

【インドの上下水道事情】

インドは人口14億人を擁し人口で世界一
毎年8%～9%の経済成長をしている

一方で上下水道インフラ整備が
追い付いていない



ベンガルール水道整備事業



活躍するNJSEI若手社員

イラク国バスラ市案件追加契約

- ◆ イラクの上下水道整備事業に設計・施工監理業務で参画
- ◆ 同国第2の都市であるバスラ市の水道整備（給水人口約147万人）
- ◆ 施設の老朽化等により、70%以上の家庭で12時間以上の給水ができなかった状況を改善

契約概要

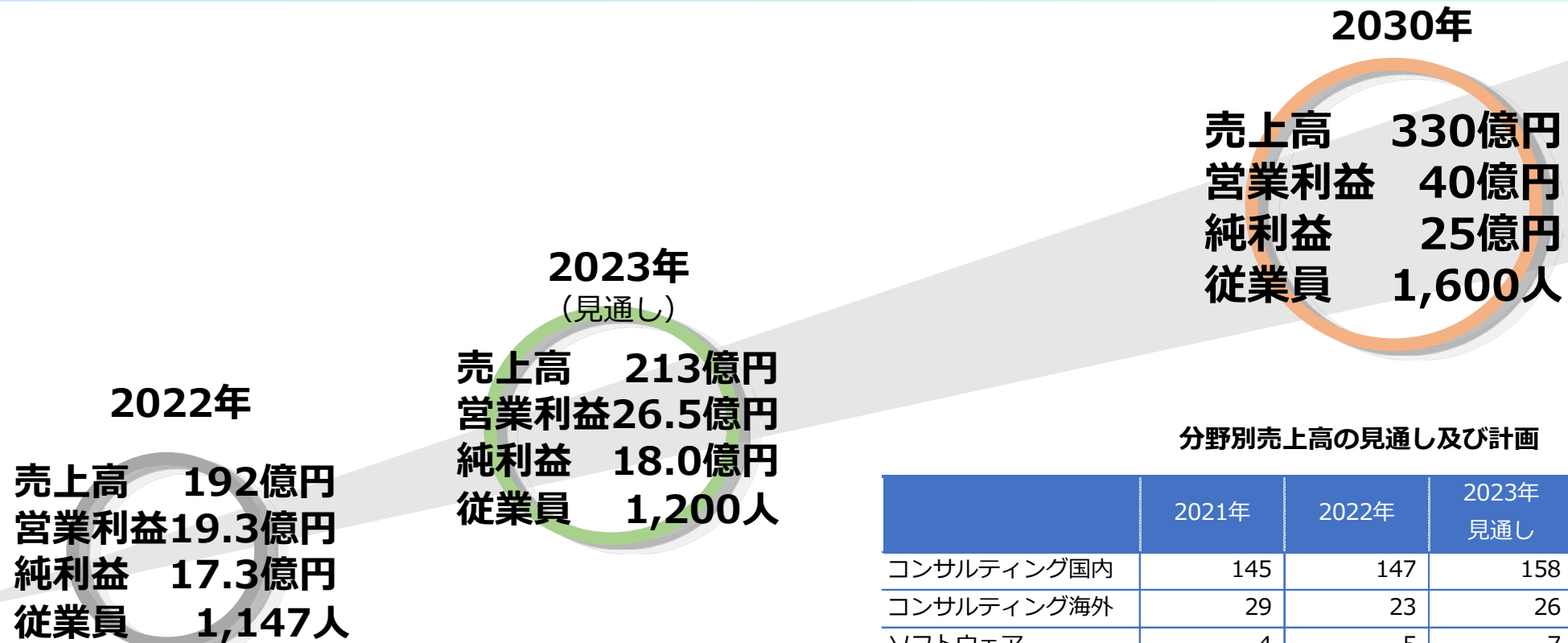
- ◆ 件名：イラク国バスラ上水道整備事業（追加契約）
- ◆ 契約先：イラク国公共事業省
- ◆ 契約金額：約11.3億円（第10回増額）
- ◆ 資金源：日本政府資金（円借款）
- ◆ 業務内容：浄水場（膜処理）の新設、送配水施設の設計及び施工監理



（イラク国バスラ市浄水場）

数値目標（分野別）

- ◆ 時代の課題に対応した事業の拡充により、2030年売上高330億円を目指す
- ◆ ウォーターPPPの推進の取り組みなどにより前回発表数値から30億円上積み



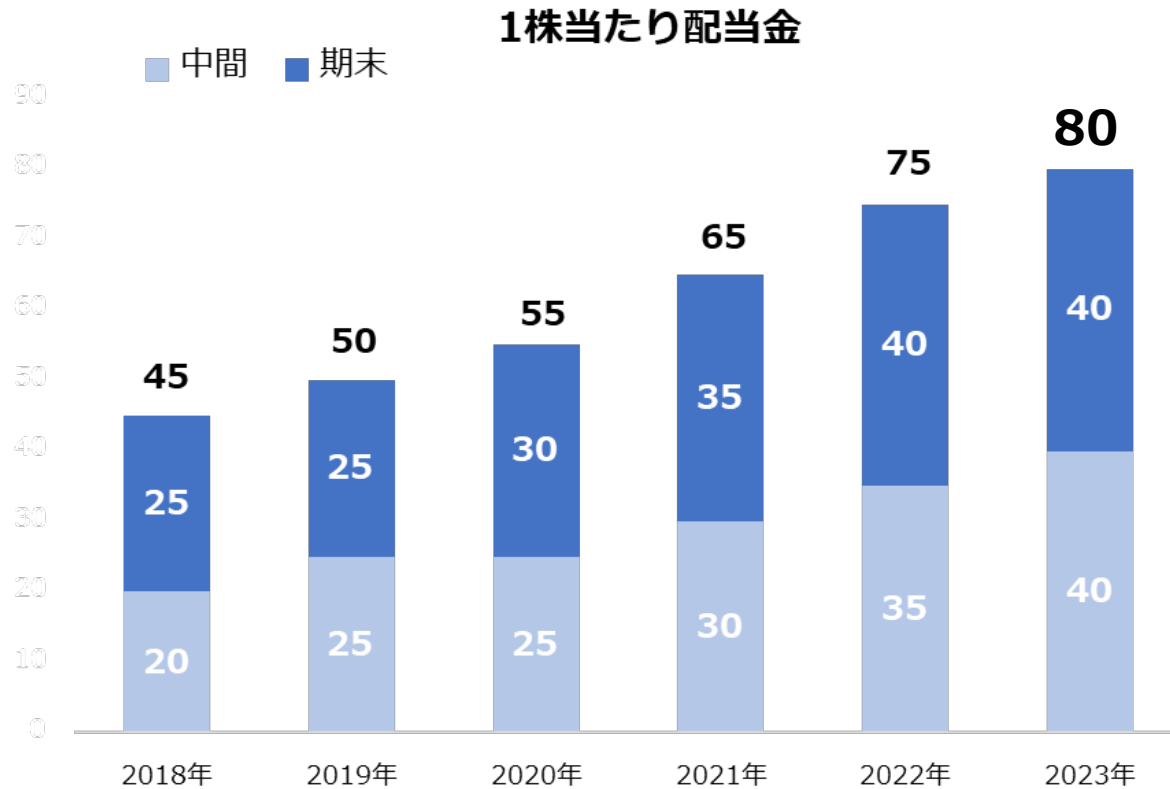
分野別売上高の見通し及び計画

	2021年	2022年	2023年 見通し	2030年 計画
コンサルティング国内	145	147	158	200
コンサルティング海外	29	23	26	40
ソフトウェア	4	5	7	10
インスペクション	4	6	7	20
オペレーション	11	11	15	60
合計	193	192	213	330

05

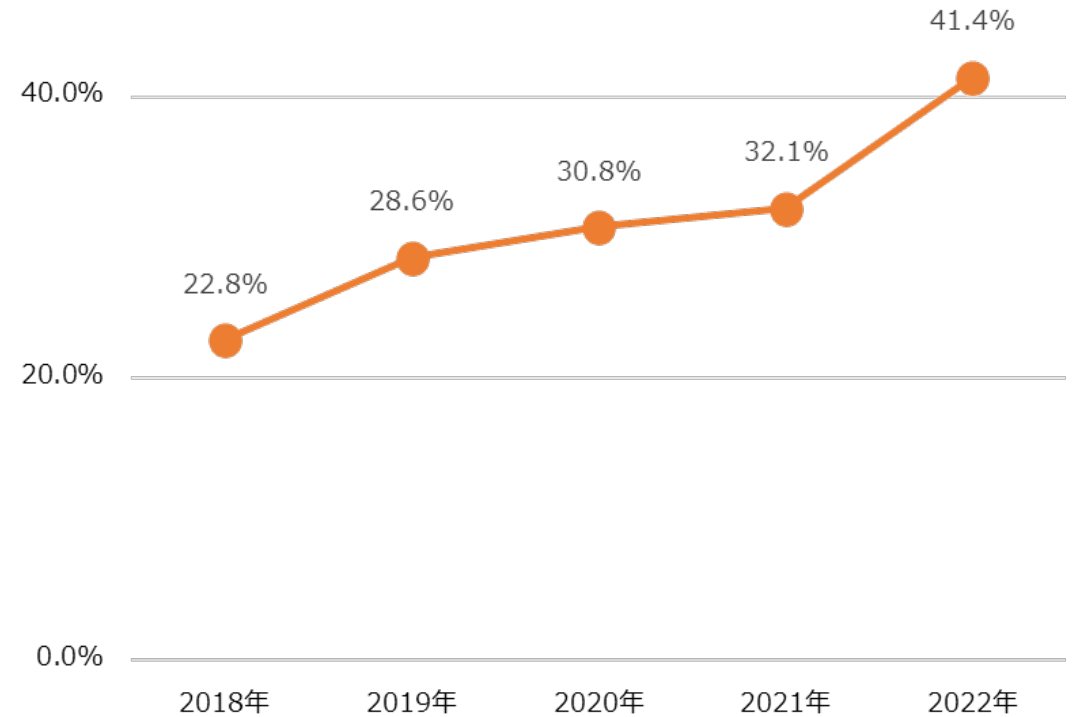
利益還元

1株あたり配当金



2023年期配当予想 80円/株
配当利回り 約2.7%

配当性向の推移



配当性向30%~50%

保有株式に応じ 商品交換ポイント進呈

保有株式数	6月末日	12月末日
300株～499株	5,000ポイント	5,000ポイント
500株以上	10,000ポイント	10,000ポイント

5000種類以上の商品 と交換できる



配当との総合利回り**最高4.0%**



鹿児島県産黒毛和牛
肩すき焼き用 350g



<佐藤水産>
こだわり鮭切身2種



<淡路島・古酒の舎>
セルフブレンドチケット



<磨き屋シンジケート>
ぐいのみ



鰻楽うなぎ蒲焼
2尾



<雅和膳>
雅和膳 詰合せ



三国ワイン・セレクト
シャンパーニュ アヤラ



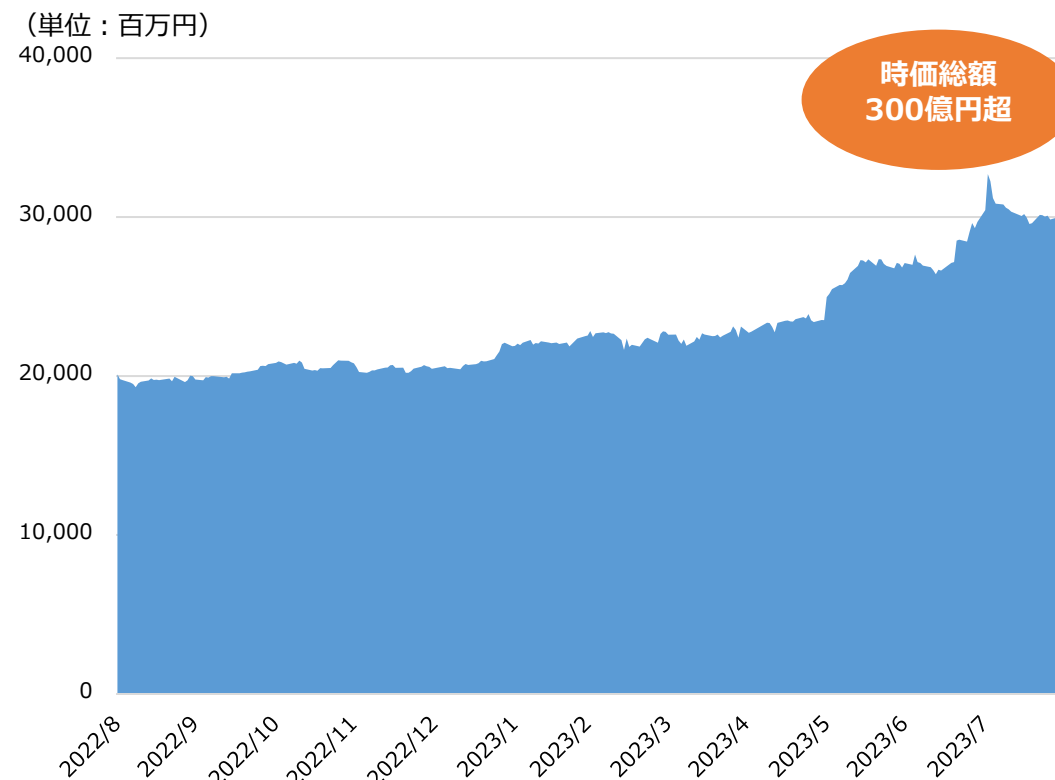
<Crossfor NewYork>
Tinkle stud2ペンダント

- ◆ 以上の取り組みにより株価は前期末比で53.4%アップ（2023/9/4終値）
- ◆ 時価総額が300億円を超え、PBRも1倍を超えた。

株価の推移（過去1年間）



時価総額の推移（過去1年間）



注) 自己株式を含む発行済株式総数ベース

最後に

新しいビジネス環境に対応し、
持続可能な社会に貢献するとともに、
企業価値の向上に努めてまいります。

ご理解とご協力をお願い申し上げます





健全な水と環境を次世代に引き継ぐ

免責事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

お問い合わせ先

株式会社NJS 企画広報室
〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1
電話：03-6324-4341
Email：njs_corporate@njs.co.jp